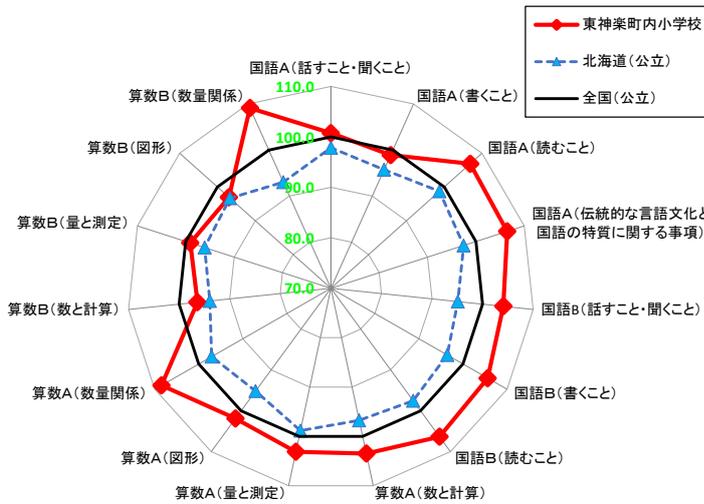


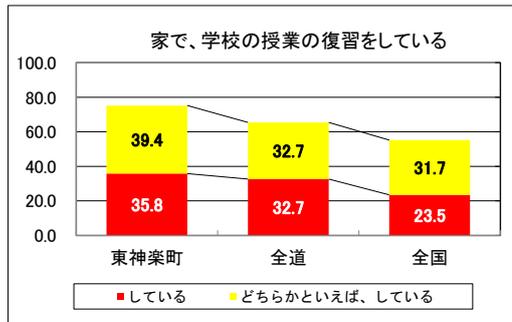
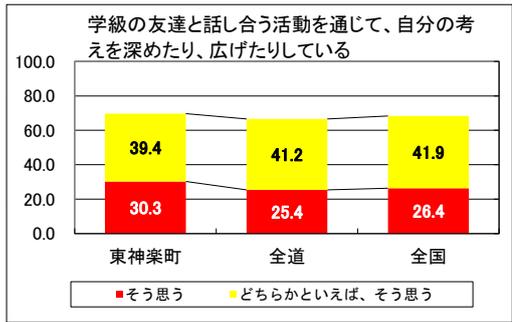
# 東神楽町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:4、児童数:109名)

## 【教科全体の状況】

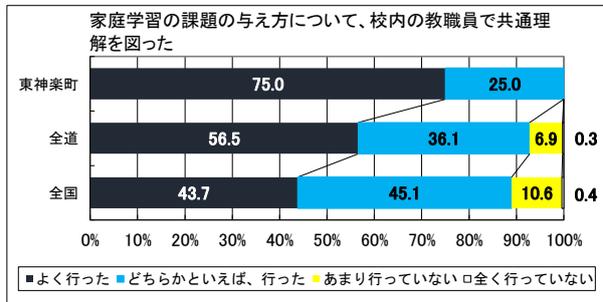
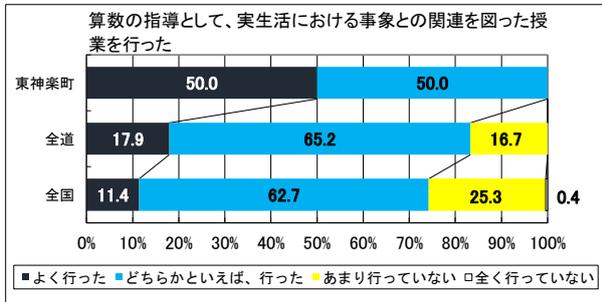
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、すべての領域で、全国を上回っている。</li> <li>○ 算数Aでは、すべての領域、Bでは、「数量関係」の領域で、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭学習の与え方について、教職員が共通理解を図り、統一した指導を実施したことにより、家庭において復習する児童が増加していると考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の考えを深めたり、広げたりするための学級の友達との話し合い活動を行ったことにより、国語Aの「話すこと・聞くこと」で全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、算数Aでは、すべての領域、Bでは、「数量関係」の領域で全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>

## 【東神楽町の学力向上策】

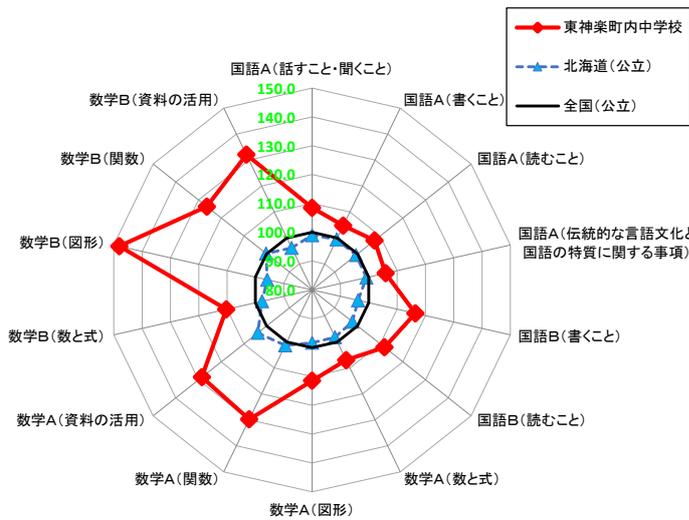
- ◎ 学校や家庭、地域、行政等が協働した課題解決を図る学校づくりの推進
- ◎ 地域未来塾の開催などによる学習支援の強化
- ◎ コミュニティ・スクールを軸とした教育の質の向上

# 東神楽町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:134名)

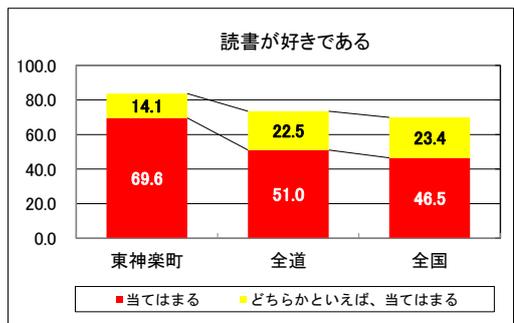
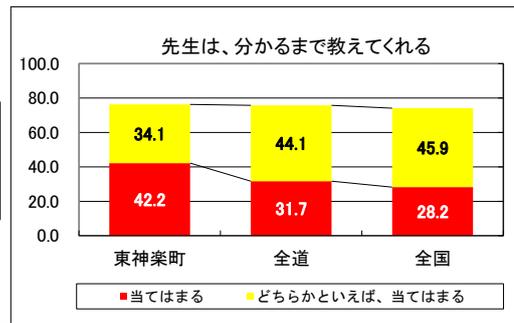
## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

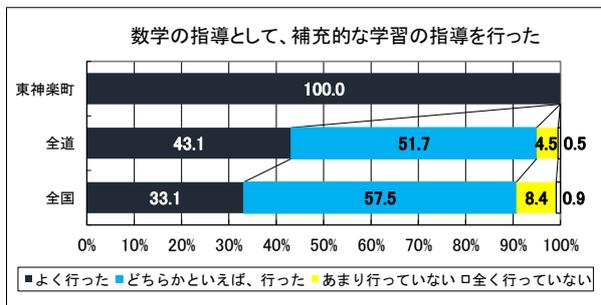
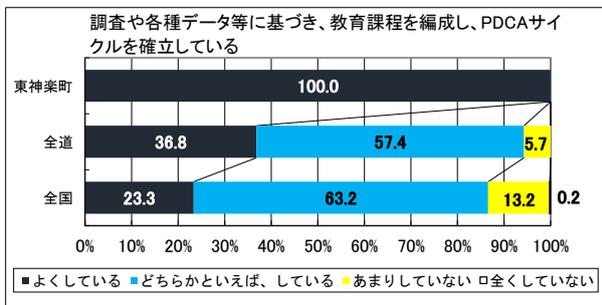
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語A・Bでは、すべての領域等で、全国を上回っている。</li> <li>○ 数学A・Bでは、すべての領域で、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えるなど、個に応じた指導を丁寧に行ったことにより、国語及び数学のすべての領域で、全国及び全道を上回ったと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ 「読書が好き」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種調査結果やデータを踏まえた成果と課題を明確にし、PDCAサイクルを位置付けるとともに、授業改善に向けた取組を行ったことにより、国語及び数学のすべての領域で全国及び全道を上回るなどの成果が現れたと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。</li> <li>○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学の指導として、補充的な学習の指導をよく行ったことにより、数学A・Bのすべての領域で、全国及び全道を上回ったと考えられる。</li> </ul>

## 【東神楽町の学力向上策】

- ◎ 学校や家庭、地域、行政等が協働した課題解決を図る学校づくりの推進
- ◎ 地域未来塾の開催などによる学習支援の強化
- ◎ コミュニティ・スクールを軸とした教育の質の向上